



もっと使おう
山梨県産材

山梨県土のおよそ78%は森林で、その半分近くは人の手が入った人工林。この人工林で1年間に成長する木材量は、県内で1年間に家や学校などをたてるために使われる量の4倍以上にもなるんだ。

人工林を守り育てるには、人の手によってきちんと管理することが大切。材木として使えるようになった木を山から切りだし、また若い木を植えることで、森が若返ったり、地球温暖化の原因となる二酸化炭素をたくさん吸収してくれたりするんだ。

森林資源に恵まれた山梨県。山梨県産の木材が利用されて、元気な森が増えていくとうれしいね。

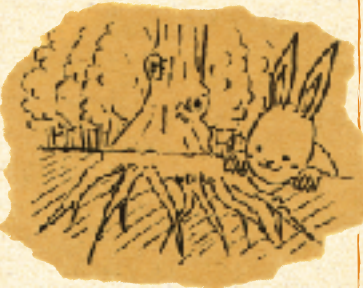
安らぎを
あたえる

森を散歩すると気持ちがいいよね。木の香りには、私たちがリラックスさせる効果があるんだ。



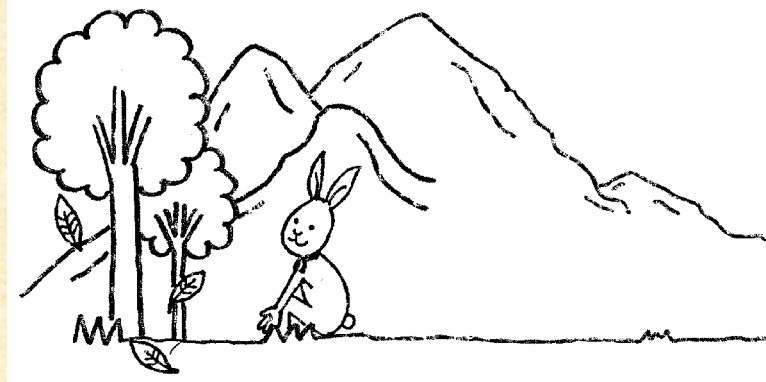
山崩れを
ふせぐ

木は大きく育つために土の中に根を張っている。このおかげで、木が土をしっかりとおさえてくれているんだよ。



地球環境を
まもる

地球温暖化は、空気中に二酸化炭素が増えることが原因といわれている。木や植物は、二酸化炭素を吸収して養分などをつくっているよ。



水を
たくわえる

森にふる雨水は、地面にしみこんだり、葉で受け止められて森の中にたくわえられる。この水は、少しずつ川に流れていくんだ。



空気を
きれいにする

木の葉には、空気中の小さなチリを表面にくっつける働きがあるよ。



vol.6 ～大切な森～

動物や昆虫などたくさんの生きものがすむ森。木の実や草を動物が食べて、動物が出すフンなどが微生物によって植物の肥料になる。そしてその肥料によって木や草が育つ。森の中の生きものたちは、お互いを必要としながら生きているんだ。私たち人間も、食べ物や木材のほかに、さまざまな恩恵を森から受けているんだよ。



木はどのくらい水を吸うんだろう

木は、葉から水分を蒸発させることで、水や養分を根っこから吸い上げている。木が水を吸い上げる様子を観察してみよう！

用意するもの

- 枝を切るはさみ ○水を入れたバケツ ○カッターナイフ
- 計量カップ ○フタのついた紙コップ ○ビニールテープ

実験方法

- ①木の枝を切り取って、水を入れたバケツにさしておく。
- ②計量カップで量った水を、紙コップに入れる。※水の量をメモしておく。
- ③水を入れたコップにフタをし、フタに穴をあけて木の枝をさし込んで、穴の周りをビニールテープで巻く。
- ④30分後、コップの水を量る。

たしかめてみよう
葉がついている枝とついていない枝、日なたや日かげにおいたもの、また木の種類によって、吸い上げる水の量に違いはあるかな？

ドングリマラカス

- ①拾ったドングリをペットボトルに入れる。



②ペットボトルをもう一つ合わせ、テープでつなげると完成。

※マラカスにカラーテープを巻いたり、絵を描くと楽しいよ。

ドングリ太鼓

- ①ドングリのお尻にキリで穴をあける。
※キリを使うときは、大人といっしょにやってね。
- ②穴に接着剤を入れ、割りばしを差し込んで固定する。

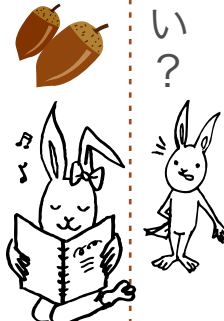


③ペットボトルを切って、紙をテープで貼ったら完成。

※手で太鼓のお尻にふたをしたり、太鼓の大きさを変わると音が変わるよ。

秋になると、森の中でつい集めてしまうのがドングリ。今回はドングリとペットボトルを使って、太鼓やマラカスを作ってみよう！

森の楽器



昔の遊びは おもしろい？